

## 会 議 録

会議名		令和5年度第3回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和5年10月3日(火) 19時00分～19時55分		
開催場所		小山公民館 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会  2 あいさつ  3 議 題 (1) 小山地区まちづくりを考える懇談会について (2) その他  4 閉 会		

# 議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は会長の発言、▲は事務局の発言。)

## 1 開 会

## 2 あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

## 3 議 題

### (1) 小山地区まちづくりを考える懇談会について

初めに、事務局から資料に沿って、小山地区まちづくりを考える懇談会の開催日程、座席表(案)及び当日の進行について説明を行った。

次に、入谷会長から懇談会当日におけるテーマの概要及び令和5年9月11日に開催された「第7回相模原駅北口地区土地利用計画検討会議」において、「ケース小山」を報告した経過をテーマシートへ追記した旨説明がされた。その後、事務局から当検討会議当日の様子について報告があった。

次に、入谷会長からテーマシートに対する委員からの意見について報告がなされ、役員会で協議した結果、インフラ整備などは既に相模原駅北口地区土地利用計画検討会議等で検討が進められていること、また、直接「ケース小山」の内容に関連していないことから、テーマシートには反映していない旨説明がされた。

最後に、入谷会長から懇談会当日に意見を述べたい方の意向を確認したが、手上げがなかったことから、当日の状況をみて入谷会長から指名することとされた。

本件について、いずれも異議等なく承認された。

### <主な意見・質疑等>

○この地域のまちづくりを考える場合は、南北道路等の交通インフラ整備と小田急多摩線延伸の課題は欠かせない。このことはしっかり調査し、報告していただきたい。

⇒●交通インフラ及びエネルギーインフラについては、相模原駅北口地区土地利用計画検討会議などで検討されており、現状の本会議のテーマとしては取り上げていない。また、小田急多摩線の延伸については、私も小田急多摩線延伸促進協議会に参加しているが、現状知る限りでは、小田急電鉄側では延伸は検討されていない状況である。

⇒▲補足となるが、今期9月市議会定例会において、臼井議員より質問があり、「南北道路と相模原駅北口広場の接続については、南北道路から小山踏切への通過交通の発生や、小山踏切から駅北口への自動車の流入増加により、交通事故の危険性が増すことが想定されることから接続は困難」との市長答弁がされた。

- 令和2年度に行った同懇談会時に同じ質問をしたが、市側からはやはり難しいという回答があった。
- 相模原駅周辺は昔のお城の周りのようにクランクの地形ばかりである。小山地区としては、都市計画道路の整備をもっと強調しなければいけないと思っている。
- ⇒●都市計画道路のことも市は当然検討している。懇談会当日はこの話にまで及んでしまうと収拾がつかなくなるため、ご理解願いたい。
- 人に魅力を感じさせるためには、交通インフラの問題を根本的に改善させない限りあり得ない。魅力あるビルや商業施設を建てても、交通インフラに問題があれば人は来ない。また、橋本には新しいマンションが数棟建てる予定があるが、やはり交通インフラが欠点となっている。
- 市長には、この小山地区の子どもの代まで伝えられる命題を検討する機会を与えていただいたことに感謝しており、我々としても世代を超えて夢を語っているつもりである。検討会議の資料も一通り取り寄せたが、交通インフラや電気インフラのことは検討しており、これがクリアできなければ絵に描いた餅になってしまうと言われている。お金が掛かるからダメと言われては夢も語れなくなる。高架整備等に1500億という数字があるが、この数字の積算根拠は公表されていなく、例えば都心誘致にかかる特区などを活用すれば負担率も変えられる。市長及び都市建設局には「できない」という姿勢ではなく、「やってみよう」という建設的なスタンスの意見交換をお願いしたい。
- 15ヘクタールのみでの議論ではなく、全面返還も見据えた議論が必要であり、これは積極的に国に働き掛けることが必要である。また、これは個人的な意見であるが、しばらくは簡易な緑地等の公園にしておくことも考えられる。国内でもいくつか事例があり、全面返還や道路等のインフラ整備の目途がたった段階で再度検討すれば、税金の無駄遣いにもならない。

## (2) その他

委員からの報告事項などはなかった。

## 4 閉 会

長谷川副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

# 小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和5年10月3日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		出席
4	本橋 純一	すすきの向陽自治会		出席
5	上田 久美子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		出席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		出席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		出席
13	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
14	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		欠席
15	小池 美恵子	小山地区民生委員・児童委員協議会		欠席
16	篠崎 則男	小山地区老人クラブ連合会		出席
17	金子 順	青少年健全育成協議会		欠席
18	永山 康雄	防犯指導員		出席
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		出席
20	大谷 春枝	向陽小学校PTA		出席
21	亀田 浩代	小山中学校PTA		出席
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		出席
23	松橋 真奈美	小山地域包括支援センター		出席